

ARSC NEWS

The Newsletter of the Applied Regional Science Conference

応用地域学会ニュースレター（日本語版），No.52, July 2003

ARSC 事務局：〒162-0485 東京都新宿区市ヶ谷本村町 2-9

（財）計量計画研究所

応用地域学会事務局 文部科学省学会コード = 10023

会長：井原健雄 担当：宮本成雄

TEL: (03)3268-9692

FAX: (03)3268-9919

E-mail: clerk@arsc.org

主要項目： 新会長の挨拶
副会長選挙の結果
運営幹事の選任（変更）
第17回研究発表大会のご案内
2002年度学会決算
2003年度第一回運営委員会の概要
事務局だより

1. 新会長挨拶「更なる交流の深化と連携の強化を目指して」

第9代会長 井原健雄

本年(2003年)の4月から2年間の予定で、応用地域学会(the Applied Regional Science Conference)の第9代会長を務めさせて頂くことになりました。どうかよろしく願い申し上げます。

顧みますと、1987年に発足した本学会には、すでに数多くの優れた研究者が所属され、しかも極めて質の高い学会活動を続けてこられました。このような本学会の会長に指名されたことは、大変光栄に思うと同時に、また、その責務の重さを真摯に受け止めております。とくに昨今、わが国の大学や各種研究機関等に対して、非常に厳しい批判や評価が行われている状況にあります。もとより、それがあまりにも myopic で、しかも financial な、あるいはまた market-oriented な側面だけに終始しているという再批判も可能ではありますが、

それよりも今こそ、我々一人ひとりが大学人や研究者として強く自覚され、その誇りと熱意を堅持することが必要ではないかと考えております。また、学会活動の存在意義は、そのような研究者を支援することであり、多様な学会活動を通して、当該会員に希望と自信をもたらす点にあるのではないかと考えております。

そこで、改めて本学会の会則に着目すれば、本学会の目的は、「理論的、政策志向的立場に基づいて地域科学の学際的研究を行うこと」(第2条)である、と規定されております。また、そのための活動として、「1. 研究会およびシンポジウム等の開催、2. 国際機関誌等による会員の研究成果の刊行、3. 内外の学会その他の関係機関との連絡、4. その他本会の目的に照らして適当な事業」と定められております。したがって、このような本学会の目的に沿うよう、会員相互の更なる交流の深化と連携の強化に努め、地域科学の学際的な研究活動が積極的に行われるよう可及的努力を傾注したいと考えております。また、そのための個別具体的な対応として、とくに下記の3点を指摘したいと思います。

第1点は、毎年行われる研究発表大会が実り多いものとなるよう、プログラムの編成等に注意を払い、会員相互の知的交流の深化と連携の強化に寄与する「魅力的な場づくり」に努めたいと考えております。学会活動のなかでも特に重要なことは、会員による研究成果の発表とそれに基づく活発な質疑応答にあります。したがって、本学会の研究発表大会に参加して「本当に良かったなあ」と思われるような研究発表大会にしたいと強く望んでおります。

第2点は、上記の研究発表大会に加えて、本学会の会員がそれぞれの地域で独自の研究会やワークショップ等を開催しておりますが、その案内や活動状況等を、さらに広く情報提供をしたいと考えております。なぜなら、そうすることによって、さらに組織横断的な交流の深化と連携の強化が期待されるものと考えからであります。

第3点は、国際化への対応について、さらに運営委員会等において検討を重ね、海外の関係諸機関との情報交換や連携の強化を図るとともに、特に海外会員からの要望やサービスの強化に対応したいと考えております。

以上、当面の個別具体的な対応として3点ほど指摘させて頂きましたが、私としては、力の及ぶ限り本学会の発展のために努める所存ですので、今後とも、会員各位のご助言とご支援ならびにご協力を心からお願い申し上げ、ご挨拶の言葉とさせていただきます。

2. 副会長選挙の結果

2003-2004年度 ARSC 副会長選挙は、2003年3月20日締め切りで実施されました。その結果は、副会長選挙管理委員に指名された貝山道博、林山泰久両委員の立会いのもと開票され、柏谷増男(愛媛大学工学部)先生が、副会長に選出されました。

総投票数	142 票 (無効票なし)
得票数	柏谷増男 62 票、岡部篤行 40 票、田淵隆俊 40 票

3. 運営幹事の選任(変更)

運営幹事総務担当の林山泰久(東北大学)先生が、長期海外出張のため、安藤朝夫(東北大学)先生が、ご後任となります。他の運営幹事の方は、変更ありません。

渉 外	藤田 昌久
会 計	貝山 道博
総 務	安藤 朝夫

4. 第 17 回研究発表大会のご案内

2003 年度の ARSC 研究発表大会を、以下のような要領で埼玉大学において開催致します。本年度も例年にも増した活発な発表と討論を期待しております。9 月 1 日の発表申し込み締切りに向けて、是非奮って応募くださいますようお願い申し上げます。

(1) 大会概要

日程 : 平成 15 年 12 月 6 日(土)~7 日(日)

会場 : 埼玉大学

(JR 京浜東北線 北浦和駅西口よりバス 15 分又は、JR 埼京線 南与野駅よりバス 10 分)

大学ホームページ : <http://www.saitama-u.ac.jp/>

会場に関する問い合わせ先 : 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255

埼玉大学 経済学部 貝山道博

Tel:048-858-3303

e-mail : kaiyama@eco.saitama-u.ac.jp

参加費 : 2000 円

(2) 発表の申し込み

申し込み

申し込まれる方は、以下の必要事項を **E-mail で申し込み先**までお送りください。E-mail の使用が困難な場合は、A4 用紙 1 枚以内に事項を記載して Fax または郵便にてお送り下さい。

- a. 発表者氏名・所属
- b. 連名者氏名・所属
- c. 発表者連絡先 住所、Tel、Fax、E-mail アドレス
- d. 発表題目(和・英の両方)
- e. 要旨(和文 200 字、英語 100 語程度、できるだけ両方を記載)
- f. 発表時の使用言語(日本語または英語)
- g. 希望討論者(候補 2 名まで。ただし候補者に事前に了解を取る必要はありません。)
- h. 発表区分(一般セッション、Early bird セッション、シンクタンクセッション、特定セッション)

発表申し込み先 下記専用アドレスにメール(添付ファイル不可)で送付して下さい。

arsc2003@se.is.tohoku.ac.jp

メールが使えない場合は、FAX または郵送でお送りください。

FAX の場合：022-217-5815

(「**計量システム分析分野 ARSC プログラム委員会**」宛と明記のこと。)

郵送の場合：〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 09

東北大学大学院 情報科学研究科内 **ARSC プログラム委員会**

発表申し込み締切り

平成 15 年 9 月 1 日(月) 正午必着

(3) セッション構成と企画の募集

本年度も、一般セッション、Early Bird セッション、特定セッション、シンクタンクセッションの区分に従ってプログラムを構成する予定です。各区分の概要は以下の通りですが、特に特定セッション・シンクタンクセッションについては、広く会員各位からの企画を募集しています。

一般セッション

一般セッションは広く論題を求めております。以下に例年取り上げられているキーワードを挙げますが、それ以外でも ARSC 会員に有益と思われる報告は積極的に取り上げますので、よろしくご応募下さい。

地域問題：成長と衰退、地域格差、産業構造、雇用・人口、地方分権、地方交付税、国土計画

都市問題：都市空間、土地利用、都市集積、外部経済、住宅立地、都市化、都市財政

交通：都市交通、混雑税、TDM、航空・港湾、投資評価、物流、通信

環境：影響評価、環境税、水質・大気汚染、地球環境、電力、資源管理、防災

国際問題：開発援助、直接投資、通貨問題、貿易・関税

Early Bird セッション

このセッションは博士論文等を執筆している若手研究者や大学院在籍の学生会員が単著で申し込んだ発表によって構成されます。ARSC の将来を担う若手研究者による積極的な報告を期待しています。

特定セッション

このセッションは特定の論題を重点的に議論するためのセッションです。論点や方法論、対象が共通する論文数編で構成することになりますが、プログラム委員会は、このセッションの企画を募集しております。オーガナイザーを務めていただける方々からの積極的な応募をお願い致します。

過年度では、GIS、ロードプライシングなどのセッションが企画開催されました。本年度も特定セッションを是非とも開催して活発な議論を展開したいと思います。特定セッションを企画される方があれば、自由書式で結構ですので、企画書を上記の発表申し込み先に 8月25日(月)までにご提出ください。

シンクタンクセッション

ARSC では会員による研究成果を実務へ活用すること、そして、実務の中で発見された様々な問題を新たな研究課題として会員に紹介することの双方向の展開が重要であるという共通認識に立っています。このセッションは会員の中で特に計画、政策立案、それに関連する調査等の実務に携わっている方々からの報告や問題提起をもとに構成されます。賛助会

員の方々をはじめ、実務の方々からの企画提案を期待しております。

(4) 今後の予定

論文申し込み時のご希望に基づいて討論者の調整を行いますが、ご希望に添えない場合もあることをご了承ください。大会プログラムは10月中旬までに確定し、ARSCのホームページとニュースレターを通じてお知らせします。

最終の発表原稿は、**11月7日(金)まで**に討論者・座長及びプログラム委員会に個別にお送りください。(最終原稿がPDF形式で作成されていれば、プログラム委員会への提出分はメール添付ファイルでご提出いただけます。)

(5) 2003年大会実行組織

大会実行委員会	委員長	貝山 道博	(埼玉大学)
プログラム委員会	委員長	安藤 朝夫	(東北大学)
	委員	貝山 道博	(埼玉大学)
	委員	上田 孝行	(東京工業大学)
	委員	国久 荘太郎	(財団法人計量計画研究所)
	委員	河野 達仁	(東北大学)

5 . 2002年度学会決算

事務局担当：宮本成雄(計量計画研究所)

2002年度学会決算を以下のようにご報告いたします。監査委員による監査後、本年度年度大会での総会にて会員の皆様への報告がなされ、最終承認される予定です。

応用地域学会2002年度決算書 (2003年3月31日)

収入の部	2002年度予算		2002年度決算	
	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨
1.繰越金	7,150,426	0.00	7,150,426	0.00
2.個人会費収入	3,950,000	2,100.00	3,605,195	0.00
3. RSAI会費	975,000	0.00	886,890	0.00
4.賛助会費収入	1,100,000	0.00	1,150,000	0.00
5.補助金(科学研究費補助)	1,000,000	0.00	1,000,000	0.00
6.大会参加費収入	400,000	0.00	778,000	0.00
7.大会開催寄付金	0	0.00	100,000	0.00
8.利子収入	0	0.00	527	0.00
9.雑誌販売(Back Number)	0	0.00	6,820	0.00
10.その他	0	0.00	0	0.00
収入合計	14,575,426	2,100.00	14,677,858	0.00
(繰越金を除く収入合計)	7,425,000	2,100.00	7,527,432	0.00

支出の部	2002年度予算		2002年度決算	
	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨
1.RURDS刊行費	3,844,000	0.00	3,656,000	0.00
(編集印刷経費)	1,000,000	0.00	1,000,000	0.00
(刊行・発送費)	2,844,000	0.00	2,656,000	0.00
2.年報刊行費	750,000	0.00	463,920	0.00
3.大会開催費	650,000	0.00	964,990	0.00
4. RSAIへの送金	975,000	0.00	832,562	0.00
5.名簿印刷費	0	0.00	5,250	0.00
6.ニュースレター等印刷費	150,000	0.00	111,795	0.00
7.一般事務費	280,000	0.00	189,656	0.00
(郵送費)	200,000	0.00	157,570	0.00
(消耗品等)	30,000	0.00	4,196	0.00
(謝金等)	0	0.00	0	0.00
(銀行手数料)	50,000	0.00	27,890	0.00
8.事務局費	500,000	0.00	500,000	0.00
9.予備費	250,000	0.00	0	0.00
支出合計	7,399,000	0	6,724,173	0
繰越金	7,176,426	2,100.00	7,953,685	0.00
(外貨 邦貨)	169,500			
繰越金合計	7,345,926		7,953,685	

2002年度より外貨は、円換金

5. 2003年度第一回運営委員会報告概要

事務局担当：宮本成雄((財)計量計画研究所)

2003年度第一回運営委員会が6月8日(日)に行われました。議事録の詳細が必要な方は事務局までお知らせ下さい。以下に、議事の要点をご紹介します。

・副会長選挙結果報告(別掲)

・決算報告(別掲)

・RURDS 出版関係

土井正幸 RURDS 編集委員長より、RURDS 出版に対して、14年度科学研究費として、100万円の支給を受けたこと、そして、15年度は、130万円に増額されることとなった旨の報告があった。

・応用地域学研究出版関係

応用地域学研究は、年2回の発行となり、No.8(1)の出版は、8月の発行を目途に準備が、順調にすすめられている旨の報告があった。

・本年度研究発表大会について

貝山道博(埼玉大学)大会委員長より、第17回大会の準備状況についての報告がありました。別掲のようなプログラム委員会の構成の要請がなされ、大会の実行・運営とプログラム編集の方針が示されました。

7. 事務局だより

ARSC 会員現勢

2003年5月末日現在の会員数(昨年度総会以降の入退会者を含む)は以下の通りです。

個人会員 460名(内、一般会員 360名、学生会員 69名、海外会員 31名)

賛助会員 13団体(総口数 21口)。

地域科学に関連する分野の研究に興味を持たれている個人または団体が周囲に居られましたら、是非入会をお勧め頂くようお願い致します。個人会員用の入会申込書は ARSC のホームページ(<http://www.arsc.org>)より入手可能です。また、Email によるお申し込みも受け付けておりますので、記入事項を ARSC ホームページにてご確認の上、必要事項を記入して arsc@arsc.org 宛てに Email でお申し込み下さい。

新しく井原先生が会長になりましたが、事務局は引き続き(財)計量計画研究所で対応することとなりました。よろしくお願い致します。

事務局やニュースレター等に対しまして、ご意見や新しい企画等ございましたら、ぜひともお知らせいただきたいと思います。